

「茅野市都市計画マスタープラン」改定に係る
パブリックコメントにお寄せいただいたご提案と市の考え方

「茅野市都市計画マスタープラン」改定に係るパブリックコメントを実施したところ、下記のとおり貴重なご提案をいただきました。
いただいたご提案の内容と市の考え方をまとめましたので、公表いたします。

記

○パブリックコメントの実施状況

1 募集期間	2 ご提案の提出者数と件数		3 ご提案の提出方法別人数				
	提出者	件数	メール	郵送	FAX	持参	計
平成30年2月16日(金) ～3月2日(金)	1人	2件	1人	0人	0人	0人	1人

4 いただいたご提案とそれに対する市の考え方

No	該当箇所(ページなど)	いただいたご提案の内容	市の考え方
1	P-24 1-4 将来の目標人口 (2) 将来の目標人口	自然減予想47400人に対する 目標51800人をどのように達成するのか課題と方策が明記されていない。 提案(夏の涼しい気候をPRし) 1) 都市の高齢者を茅野市に呼び込む夏の避暑を兼ねた 月単位の賃貸住宅を(空き家、オーナーがいない ペンション)増やし、夏の人口を増やす 2) 夏オリンピックの外国チームの練習場 宿舎を誘致することによる人口増	茅野市都市計画マスタープランは、土地利用、道路・交通、公園、下水道等の都市施設や景観といった都市を構成する様々な要素について、本市が目指すべき取組の方向性を示すとともに、本市の都市基盤の整備方針の方向性を示す計画です。目標人口については、当市の最上位計画である第5次茅野市総合計画から引用しています。これは、茅野市都市計画マスタープランを含めた本市が行う全ての政策や事業の成果として目指す数値です。人口減少対策については、現在、茅野市の特性に合った、茅野市だからできる具体的な取り組みを盛り込んだ茅野市地域創生総合戦略に基づき推進しています。ご提案いただいた内容については、地域創生総合戦略担当課と共有し今後の参考にさせていただきます。
2	P-63 2-3 山岳 高原リゾート 道路 交通 毎年行楽時に山間部の車の大渋滞解消策が示されていない。 →HV購入やアイドリング 運転の啓蒙より先にすべきは 大量のCO2を撒き散らす 行楽時の大渋滞 解消策をまず実施すべき	提案(環境基本計画でも同提案した) 第1段階 1) 通常のカソリン車には環境税支払い要求する(茅野の車は除外) 2) HV は環境税支払いなし。但し駐車場料金は必要 3) EVFCVは環境税支払いなし、駐車場料金無料かつ充電無料 第2段階 1) 通常のカソリン車 HV進入禁止。地元車は環境税支払い必要 2) 1600m以上は 水素ガスバスを運行しバス利用を促進する 3) EVFCVは環境税支払いなし、駐車場料金無料かつ充電無料 英国 ロンドンでは EV HVの市内乗り入れ環境税なしだが通常のカソリン車 デイゼル車には環境税支払い必要	茅野市の観光地へ続く道路は、主に国道、県道といった主要幹線道路が骨格となります。これらは、生活道路、観光地へ向かう山岳観光道路として多岐にわたる役割を担っています。山間部においては、急カーブ、急勾配、幅員狭小など、数多くの改良区間が存在します。こうしたことから、防災安全上、交通安全上からも整備が急務となりますので、主要幹線道路としての、機能強化を図るよう国や県に要望を行ってまいります。ご提案いただいた内容については、環境基本計画担当課等と共有し今後の参考とさせていただきます。